

総務産業常任委員会記録

日 時 令和3年11月5日（金曜日）14時00分～14時43分

場 所 議員控室

出席者 逢坂委員長、磯野副委員長、船本委員、阿部委員、工藤委員、森議長
ワザハバ 金木議員、平山議員、小寺議員、村田議員、舟見議員

事務局 豊島局長、嶋元係長

逢坂委員長

本日は、お疲れのところ、ご苦労さまでございます。ただいまから総務産業常任委員会を開会いたします。

今日の審査調査事項は、除排雪業務開始に伴う課題等についてでございます。今年も早いもので本格的な雪の季節が近づいてきました。予報では、来週中に初雪が降るのではないかというふうな予想も出ております。根雪については、いつになるか分かりませんが、毎年のこととはいえ、除排雪は町民にとって大変身近なことでございますので、よりよい除排雪を行っていただくよう、今年の体制などを担当課より説明を受けまして質疑を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、早速であります。所管課であります建設課よりご説明よろしくお願いをいたします。

1 除排雪業務開始に伴う課題等について

説明員 建設課 金子課長、高本管理係長

金子課長 14:01～14:02

まず最初に、私のほうからご挨拶をさせていただきます。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、説明の時間をいただき、誠にありがとうございます。本日は、ただいま委員長からもご説明がありましたが、除排雪業務の今年度に向けた内容についてご説明させていただきます。

では、早速高本のほうからご説明させていただきます。

高本管理係長 14:02～14:06

建設課の高本といいます。よろしくお願います。令和3年度の除排雪業務の内容に

ついて、座って説明をさせていただきます。

資料の1枚目からですが、除排雪業務の契約についてですが、契約期間はこれまで本委員会でも11月中からの開始との意見をいただいておりますが、今年度についても例年どおり12月開始とさせていただくことになりました。ここ数年の状況を見ると、平成28年度、29年度の2年間は11月中旬から降雪が多く、五、六日の稼働がありました。しかし、平成30年度は原野地区のみで2日間、令和元年度、2年度は稼働実績がなかったことから、今年度についても12月からの契約と判断させていただきました。なお、11月中に除雪作業が必要となった場合は、住民生活に影響がないよう道路維持管理業務の中で対応することとしております。契約方法は随意契約として、今年度の予算現額は市街・原野地区で1億3,815万6,000円、離島地区は天売、焼尻を合わせて440万円です。

次に、除排雪業務の概要についてであります。除雪延長は車道が112.9キロ、歩道が15.9キロ、合計128.8キロでなり、昨年度と変更はありません。実施方法についてもこれまでどおり市街・原野地区については羽幌町道路環境事業協同組合への委託、離島地区については島内の業者への委託を予定しております。

次に、市街・原野地区の業務内容等についてであります。こちらも昨年度から変更はありません。作業時間については午前5時から午後5時までとし、車道、歩道除雪に加え、路面整正、排雪、融雪剤の散布等を行います。町から受託者への貸与車両についてですが、除雪ドーザが5台、大型のロータリ除雪車が5台、歩道用のロータリ除雪車が3台、ダンプトラックが2台の計15台となっております。

次に、作業目標であります。記載のとおり車や歩行者が安全に通行できる状態を確保することとしています。作業基準については、車道及び歩道の除雪は降雪量がおおむね10センチに達した場合としていますが、このほか気象状況や道路状況等を総合的に判断することとしています。路面整正については、通行車両が危険を回避するために道路を逸脱または反対車線へ進入する可能性があるものと判断した場合に行うこととし、排雪については除雪作業において作業目標を達成することが困難となった場合に行うものとしております。

次に、2枚目になります。平成28年度から令和2年度までの除排雪業務の委託料と稼働時間の実績を記載しております。今年8月4日の委員会で説明しましたが、令和2年度は平年よりも降雪量が多かったことから当初契約額の1億978万円から7,775万9,000円を増額し、合計1億8,753万9,000円が最終契約額となっております。

以上で令和3年度の除排雪業務についての説明となります。よろしくお願いいたします。

逢坂委員長

ありがとうございます。それでは、今令和3年度の除雪業務開始に伴う課題ということで、るる説明をいただきました。皆さんから質疑等を受けたいと思います。質疑につきましては、挙手にてよろしくお願いをいたします。それでは、何かあれば受けたいと思います。何かございませんか。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:06～14:43

磯野副委員長 先ほど11月に仮に降った場合の業務について、通常の道路維持業務の中で行うということなのですけれども、これは例えば重機とか、そういうのは委託業者に頼むのか、それとも町で持っているやつで町の中でやるということなのですか。

金子課長 町の当然車を使って、オペレーターなんかは道路維持管理の中の職員の中で対応してもらおうというような感じで考えております。

磯野副委員長 離島地区の部分についてなのですけれども、ここ数年委託業者のほうから高齢化だったり、いろんな体調の部分あって、なかなかという話をちょっとうわさとして聞いたのですけれども、その辺は何か聞いていましたか。

金子課長 その辺につきましては、今年度相談を受けまして、除排雪作業のやり方を若干ちょっと変えるという形で今年度も同様の業者に委託するというところで話はしているところです。それに先立って、漁組のほうだとか、あと支所などを通じて一応意見の聞き取りもさせてもらっているところです。業者のほうもその辺は話しながら進めて、おおむね昨年度と変わらないような除排雪でできるような形でやっていただけるというような話に今はなっております。この件に関しましては、ある程度島民に対してもちょっと周知というか、どういう形かはちょっと今検討中ではありますけれども、チラシになるのか、ちょっとインフォカナルとか、そういったような形でそういう説明をしていきたいなというふうに考えているところです。

工藤委員　　まず、予算現額はこのようになってはいますが、担当課のほうで町内の雪の状況とかを捉えながら、例えば予算が足りなくなった場合には速やかに補正を組んでやるという計画でいるかどうか聞きたいと思いません。

金子課長　　そのような計画でいます。

工藤委員　　もう一つ、僕なんかは町内の除雪とか排雪とか、そういうのが車の支障がないように、あるいは歩行者が歩くのに支障がないようにというのは、常に町を仕事で回ったときに見ていました。道路状況も悪いときには、去年辺りも担当課に直接言って、できる限りのことをやってもらいたいということでやっていきました。皆さん議員の方は、そういうことを思っていると思うのですが、やり方が悪いからどうのこうのではなくて、要するに町民の生活に支障があるということは、やはり行政側としても我々町民の立場としてもまずいことなので、ですから問題があったときには常に言っていきますので、その辺の部分は嫌がらないで聞いてもらいたい。できることは、なるべくやってあげるのだという、そういう姿勢で対応してもらいたいなと思います。この辺は、どういうふうに考えていますか。

金子課長　　その件に関しましては、常々苦情だとか要望などは常に承っております。それに関しても昨年度、ちょっと件数は今は押さえていないのですが、全ての苦情や要望に対しては必ず現地を確認し、できる対応は全てしてきているつもりです。当然ながら今年度もそれらに気をつけて臨みたいというふうに考えております。

工藤委員　　ひとつそういう形で進めていってください。お願いします。

阿部委員　　まず、予算額に対して質問しますが、これは令和2年度よりも上がっているのかなとも思うのですが、これは単価が上がったからということなのかどうか、お願いします。

高本係長 この金額なのですけれども、稼働時間の単価としては人件費が若干上がっている部分と燃料費なのですけれども、去年のこの時期では94円で計算していたところなのですが、現在の軽油の単価は120円となっていて、そこで金額が令和2年度に比べて令和3年度が上がる見込みとなっております。

阿部委員 そういった燃料代であったり人件費の部分も労務単価も上がってくるということで、これについては国なり道なりということでできますので、それに沿って積算していると思います。当然請け負う会社のほうとしてもそれに合わせて賃金等も払うような形になるのかなというのは、しっかりやられているとは思いますが、やはり人件費の部分が上がったら、それをしっかりと作業員に対して反映していかないことには、どうしても人を確保するという部分で厳しくなると思いますので、その辺はどのように捉えているかどうか、お聞きしたいと思います。

金子課長 当然ながら今回契約を進めるに当たって、事業者側とも打合せをしております。その際に必ずというか、除雪のやり方も含めて従業員とかオペレーターに対する配慮、当然契約内容の単価だとかというのは内容をある程度しますので、なるべくそういうような企業努力というか、そういうのは努めてお願いしますという形では説明させていただいております。

阿部委員 ぜひ町側のほうから企業側のほうに対しても人員の確保という部分で、いろいろな確保の仕方があると思いますけれども、やはり賃金の部分というのはしっかりと反映させていただきたいと思います。
もう一点、質問ですけれども、いろいろな例年苦情等が出てくる中で、どうしても先ほど工藤委員のほうからもありましたけれども、交差点であったり路面整正という部分、なかなか追いつかない部分も十分承知はするのですけれども、その辺は根本的に例えば人手がないのか、機材がないのか、そういった部分、どうしても今のままだったら解決できない部分というのもあると思うのですけれども、その辺は担当課としてどのように捉えているのかお聞きしたいと思います。

金子課長 どうしても除排雪というのは、降雪量だとか天候だとか、様々な要因で決まるものなので、ではどれが適正かというのは、なかなか難しい判断なのかなというふうに捉えております。今できる現状の機材、人材の中でまずはしっかりとやった上で、問題がある場合は都度対応というふうに進めるしか今はないだろうなというふうに思っております。ただ、状況が変わってきて、そういう状況が継続して続くだとか、本当に降雪量が毎年多いだとか、そういうような状況が続くのであれば、もともとの体制自体を変えなければならぬという判断もしなければならぬのかなというふうには思っていますが、ただ現状においては現状の機材、人材の中で対応していきたいというふうには考えております。

阿部委員 今ある人材、機材で対応するということですがけれども、例えば国道であったり道道、歩道と車道の間にもどうしても壁ができてしまうときというのは、ユンボですか、バックホーを使って崩して、それで排雪していくということで、ある程度見通し、交差点も含めてですけれども、よくなっていく中で、町道でいくと今の車両だけではどうしてもそういったところまではカバーできないと思うのです。今ある人材、機材、当然予算内の中でのということになってくると、どうしても限られてきますけれども、やはり町民の安心、安全という部分でいったら、国道や道道でやっているような作業方法が適切なのかどうなのか、そういった部分も今後考えていただきたいと思えますし、当然そうなら人も増やさなければならぬ、機材も増やさなければならぬ。当然金額もそれなりに上乗せしていかなければならぬという部分もありますけれども、そういった部分、今ここですぐ答えてって難しいかもしれないですけれども、担当課としてそういったのを含めて今後検討していくのかどうなのか、その辺改めてお聞きしたいと思えます。

金子課長 先ほど契約のときに業者側と打合せという説明をしました。その中では、うちの技師さんも入れながら、また現場の意見なんかも業者からも聞きながら一応話を進めているところで、そこで我々のほうも何か解決していく点とか、改善できるか。もちろん専門でやっている方というのが一番現場を分かっていますので、そういう意見をなるべく集約しながら、改善できるところは改善していきたいなというふうな認識でおりますの

で、よろしく申し上げます。

阿部委員 あと最後に、これから契約になると思いますけれども、予算委員会でもちょっとしつこくやりましたけれども、今過去5年間の最大、最小を引いての3年間の平均から75%で当初段階での契約ということになっていましたけれども、これについてはまた令和3年度も同じような形でいくのかどうなのか、まずお聞きしたいと思います。

金子課長 そのようなやり方で考えております。

阿部委員 あまりしつこくはあれですけれども、やはりその辺こうした話題がどうしても出てきた中で、やはりそれはちょっと厳しいのではないの、きついのではないの、業者に対してちょっと厳しいのではないのという声もありましたので、やはりどこかのタイミングで、最終的に雪が降ったから、補正を出すから、それでいいということではなくて、やはり当初の段階から正規の契約額と言ったらあれですけれども、最低補償額で契約するのではなくて、やはり正規の金額で契約すべきだと思いますので、その辺は業者がはいと言ったから、それで済ますのではなくて、やはり役場内部でもさらに検討もしながらやっていただきたいなとも思いますけれども、その辺改めてお願いしたいなとも思います。

金子課長 契約の件についてなのですけれども、今の契約内容については委託業者側と協議を重ねた上で決まった契約というふうに認識しております。これは、平成30年度から始まって今年が4年目になると思います。今年度におきましても契約前に委託業者側と先ほど言った協議を実施しております。双方合意の下で契約を締結するというところで確認を見ているところで、その際も業者側は言いづらいのかもしれないですけれども、業者側からも特段意見もなかったことから、建設課といたしましては本年度はそういう契約でいきたいというふうに考えておりますし、まだ当面の期間はこの方法でやっていきたいというふうに考えております。ただ、言われたように委託業者側とも随時協議は重ねておりますので、その中で意見等を聴取しながら、改善等できる場所があれば、そういうような意見を聞きながら進めていきたいなと考えております。

船本委員 磯野委員とちょっと質問がかぶるかも分かりませんが、契約期間というのは12月1日からということなのですが、11月に降るか降らないかは分からないけれども、もしどっと降った場合に道路維持のほうでということとは町のほうで対応すると。でも、その量にもよるけれども、運転技術員は1名しかいないと。そういうときには、あれですか。組合のほうとも話し合っただけで対応できるような体制になっているのですか。

金子課長 そのような体制でやってもらうように組合側と事前に話ししておりますので。

船本委員 それと、何回か委員会をお願いをしているのですけれども、非常に危険な部分で心配している部分は屋根の雪、ああいうのはいまだに解消されていないところが何箇所かあると。そして、パトロールも組合は組合のパトロールだし、町は町のパトロールをやっていると思うのですが、そういうのは例えば屋根だけでなく、また危険なような部分だとか、例えば中小路から行って角に雪を持ってくるだとか、全然見えないというような箇所も何箇所かありますよね。そういうようなことというのは押さえているのかどうなのか。それと、そういう例えば屋根なんかから落ちてくるやつが言っても改善できていないのが何件ぐらいあるのか、そういうのは押さえているか。

金子課長 すみません。今の時点では、具体的な数字はちょっとお答えできないのですけれども、危険箇所というのは建設のほうでは把握しております。パトロールも常にするようにしてまして、またそういう家屋がある場合は持ち主だとか、そのように修理というか、お願いというか、ちゃんと雪に対応してくれというような話も当然継続してきております。それでも難しいという場合は、歩行者の安全を確保する上で、あえて歩道をつくらなくて雪山で残しておくだとか、そのような対応を個々にやらせてもらっていますが、そういう課題については建設課では押さえて、これからはちょっと改善できるように努めていきたいというふうに考えています。

森 議 長 先ほど係長のほうから軽油の単価の説明がありましたけれども、現在120円台というような、全く実態と違う数字だと思いますけれども、これはちょっと私分からないで不勉強なのですけれども、除雪に係る費用というのは軽油引取税の免除というような制度に乗っかって免税軽油ということなのでしょうか。

逢坂委員長 暫時休憩します。

(休憩 14:23~14:23)

逢坂委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

森 議 長 いずれにしても単価は恐らく石油協同組合、何社かあるところと行政と話し合っって一定枠からスタートして、相場がいろいろ変わるごとに変化していくものだと思いますけれども、現状の価格、小売りをやっているのので毎日のように全国、全道のスタンドとか、そういうところの値段を見ていますけれども、セルフで、かつ最も安い、ここは具体的に名前を言っっていいと思いますけれども、オカモトだとか、そういうところで130円台半ばから後半であっって、一般的なセルフに関しては150円近い状況です。つまりそれ以外の手で入れるところとか、ある程度一定期間の現金払いではないというようなことも含めると、現実には150円を超えて、今後の見通しとしても今日OPECの総会があっって、その増産にはいかないという方向が出ていますので、現状より下がるということはちょっと考えにくい、まだ上がるのではないかと。まだ上げ切っっていないです。今上がった部分に対して、実際こういうふうには転換し切っっていないので、上がるだろうと思っています。それで、仮に去年の九十何円というのは実績でしょうから、そこから今の150円ということであれば、物すごい数の50%近い値上げをしております。その上で、この予算時というのは恐らく去年の先ほど言っった97円から150円のところでたてているのではないかなと思います。それで、その予算の中の燃料費の割合、数字はあえて聞きません。というのは、結構あるのではないかなと思うのです。それ掛ける例えば20%、30%というような、もしくはもっと掛けなければいけないと思ったら、相当今年はこの予算では厳しいなというふうに

推測するのですけれども、その辺について原課として今の現状をどう考えていますか。

金子課長 契約については、道単価を一応使用してしまして、11月に新しい単価が出てきます。その中で燃料費の単価も出てくるということなので、それをもって契約の金額が決まるものだというふうになっております。現時点、現状での燃料費の単価で一応積算というか、試算も出させていただいております、やはり議長おっしゃられるとおり今年度の3月、大部分のところまでちょっと増える可能性があるのかなというように見込んでおります。ただ、今後料金改定、単価改定がされたとしても今年度の予算の範囲内で収まるのではないかなというふうな今見通しではおりますが、その辺は注視しながらちょっと進めていきたいなというふうに考えているところです。

森 議長 道単価というのは、人件費だとか消耗品も含めたそういったもので、燃油の関わりはそこを参考にしていうのはちょっと初めて知ったのですけれども、そこで道単価も当然人件費等については最低賃金も毎年上がっているように、今年も恐らく上がっているのだと思います。ただ、加えて先ほど言った燃油の価格については、道単価がいつのを決めて、いつの段階のあれなのかちょっと分かりませんが、現時点で120円と150円で見たら、もう1リットル3,000円ぐらいの乖離が担当課と現実の値段で違うので、そこは恐らく現実の値段に即したような、仮に道単価が何か月か前に押さえていて、そこからリッター30円も上がっているなんていうことがあれば、だから道単価がそうだからいいだろうということにはならないのかなと思いますので、その辺は具体的に燃料費が幾ら、単価はどのぐらいで計算していますよということは業者ともこれから話し合うのでしょうから、なるべく実態に即したような形でいかないと、常に燃料費の部分で利益を削っていくということにはならない。これは、もう必要最低限の経費ですから、燃油というのは。その辺を留意して、お互いに話し合っていたいただきたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

金子課長 一応契約の協議をするときに、業者側と契約時のときの単価で契約するというような話をして、双方合意におけるところなので、そのように認識してございます。

船本委員 1点、いいですか。ちょっと今の議長との関連で聞きたいのですが、随意契約をやると。同じ随契でも予定価格はつくると思いますが。それに北海道の単価、道単をそのままだけれども、さっきから北海道の単価、単価と言っているのですけれども、北海道の単価に地域のいろんな事情をプラスアルファで予定価格をつくっているのか。それとも、道単価をそのまま使ってしまうのか、どちらなのでしょう。

金子課長 基本的に単価を使う際は、地域の配慮、考慮をしていることはありません。

船本委員 考慮しないということ。

金子課長 はい。

船本委員 当然燃料単価も札幌と羽幌でも値段は違うし、人件費だって違うし、ほかの部分だって例えば修理だって相当これかかっているのだけれども、どんどん増えていくのだけれども、車が古いから仕方ないのだろうけれども、こういう問題になって出てくると思うのです。車の修理なんかだって、その場所と同じ場所でないから、どういような予定価格のつくり方をするのですか、例えば修繕だったら。今までの何年間の平均をならしていくらだとか、何とかというつくり方をするのですか。どんなやり方、詳しくは要らないです、予定価格ですから。

金子課長 その計算式があるということなので、修繕率だとか、ちょっと詳しいところは今言いませんけれども、そういう規定だとか、それに沿った形での設計となっておりますので、その辺は業者側とこれまで詰めてきた話ということでご理解いただきたいと思えます。

船本委員 それは理解しました。ただ、道単価、道単価だけでは、なかなかちょっと理解できない部分があるので、例えばさっきも言ったように地域なら地域の羽幌でそういうようなものを考慮しながら北海道の単価も使って、横で羽幌町独自でやはり予定価格はつくらなければならないわけですから、そういう形でやらなければ北海道って全部が全部同じということにはならないと思う。僕がいたときのことを僕は言っていて、今内容が変わっていれば別です。ただ、契約関係については財務課が指導機関ですから、どのような指導をしているのか。そこら辺、私は今は分かりませんが、やはり予定価格というのは慎重にかからなかったら。

逢坂委員長 暫時休憩します。

(休憩 14:31～14:34)

逢坂委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

金子課長 契約時に使う道単価に関しましては、地域ごとの単価なども配慮されている単価となっておりますので、ご理解いただきたいと思います。

逢坂委員長 そのほかに何かございませんか。(なし。の声) ないようですので、私のほうから何点か、すみませんけれども。
まず、毎年のことなのですけれども、道路への雪出しが極端に多い道路があるというのは、もう去年からも、その前の年からも言っているのですけれども、その辺の把握とその対応策というのは今年辺りどうやっていくのかなということをお聞きしたいなど。極端な道路への雪出しについての対応策というのは、町としてどのように指導していくのかなというのを教えていただきたいなど。

金子課長 去年も、昨年度もそうだったのですけれども、あまりにもひどいというか、極端な道路への雪出しをされているところに関しては個別に訪問して指導というか、説明をしているところです。今年度におきましても広報での周知もさせていただきますし、そういう事案があった場合は都度対応していきたいなというふうに考えております。

逢坂委員長 ぜひそういうふうに指導を徹底していただきたいというふうに思います。それで、もう一点、昨年の特時点で12月は大雪だったのですよね、たしか。それで、前のときは排雪を12月に必ず1回は、去年もたしか私のほうから言ったのかなと思うのですけれども、排雪をされているのですけれども、去年は181センチ、近年にないぐらいの記録的な大雪にもかかわらず、排雪が一回もされていないという部分で、手が回らないというような答弁だったのかなというふうに僕は記憶しているのですけれども、その手が回らないということはどういうことなのかなという、排雪をぜひやっていただきたいなという部分で去年は質問をしたので、今年はそのような対応、もし去年みたく大雪になったときに排雪はどういうような形で考えているのかなということをちょっとお聞きしたいなと思います。

金子課長 特に排雪に関しましては、雪の量、その他積もっている量に対して行うというふうに考えております。ただ、昨年度におきましては12月中ぐらいまではそれほど積雪量はなかったのですけれども、いわゆるどか雪と言うのですか。それが一気に年末、多分クリスマス付近だったと思うのですが、その辺にどかっと降られたものですから、そこから排雪となると、排雪する際にはトラックだとかオペレーターの準備もありまして、それをするにはちょっと時間を要するものですから、なかなか緊急の対応が難しかったという点があります。ただ、その間におかれましても町のトラックを使いながら主要な道路、消防だとか、警察だとか、学校周りなんかは排雪を年末にやらせていただいているところです。必ず計画的に上手にやれという気持ちでは常におりますけれども、ただ状況によってはそういうような場合もあるということをご理解いただければなと思います。ただ、それに関しては常に努力していきたいなというふうには心がけておりますので、ご理解をいただければなと思います。

逢坂委員長 分かりました。
それで、その関連なのですけれども、去年も12月の時点で道道はどんどん、どんどん排雪されて、ほかの地区は道道はどこもやられていたと思うのですけれども、町道だけが全然やれないという部分で、それは重なったから今言うダンプが少ないとか、それは地域の事情だと思うのですけれども、できれば早め早めの排雪、その雪の量が極端に降られたら、

もうちょっと手が回らないのですけれども、ある程度積もった時点で年前にやるとかという、そういうことをやっておけば、どっと降られたときにも対応できるのかなと自分では思うので、要するにある程度降ったら、もう年前には1回やるのだよというような、その組合、委託業者さんに契約するときに言うておけば、役場として私はできると思うのです。だから、そういう面をきちっと、雪が降ったから、いや、手が回らないというふうになってしまったら排雪も当然できなくなるので、ある部分、年前にはもう日にちもある程度決めて、ある部分を排雪しておけば楽なのかなというふうに考えるのだけれども、そういう案はないですかね。それはできるはずなのです、役場が要請すれば。だから、その部分をやはり事前にやっておけば、後でどかっと降ったときにも慌てることはないのかなとこっちは思うので、それを契約時に上乗せしてといえ、先ほど来から言っている契約金額に反映させるという部分はできると思うので、それはぜひやってほしいなと思う。そうしないと、やっぱりどかっと降られると、どっちもというのは手が回らなくなるのは分かっていますので、年前に1回は排雪するのだというのを契約に入れてくれれば、本当はそちらの業者さんも恐らくその分、出してくれよというふうになると思うので、そういうふうな契約にしたほうが僕はいいと思うのですけれども。そうすると、道路が狭くなるだとか、そういうのが発生しなくなるので、交差点が見つらいとか、毎年こういう問題は出てくると思うので、ぜひ契約時に、すんなりお金を出してあげて、12月にはやってくださいよと、時期を見て。そういうような、何も降らなかつたら、それはやらなくていいのですけれども、ある程度降ったらやるということにしておけば、業者さんもそういう体制を取るわけなのです。ですから、そういうこと言うておけば、私としてはいいと思うのです。やらないとは言わないと思うのです。ただ、お金がかかるわけ、当然排雪をやるわけだから、単純にこの1億3,000万ではできないよと言われると思います、今の予算で。その部分は、上乗せするよということでやっていけば交差点だとか、いろんな部分の見つらいとか、そういう問題も解消できるし、いいかなと思うので、そういうことをちょっと検討していただけないのか。

金子課長 当然ながら、そういうような契約になれば、そういう改善はされるのかなとは思いますが、予算が関連することなので、それについてはこの場ではちょっとお答えはできません。今現状の考え方としては、現状の予算の範囲内でできる限り除排雪を含めて適切に進めていきたいなというふうな考えで担当課としては考えておりますので、ご理解いただければなど。

逢坂委員長 ぜひよろしくご検討をお願いします。
ほかになれば。ありませんね。(なし。の声) それでは、これで本日の委員会は終了させていただきます。大変ご苦労さまでございました。どうもありがとうございます。